

# THE真心ブラザーズインタビュー

取材・文／早川加奈子 協力／CSPアーティストズ、K/ON SONY

◆「善悪の第三者」/THE真心ブラザーズ/  
2,800円(税込)/K/ON SONY



**不変の本質があるから、色々な音を着てみたい。**

某ファミコンのCMの出演でいい味見  
せてくれる真心ブラザーズ。ユニーク  
でシニカルな歌詞と、シンプルでキャッ  
チなメロディと音作りで人気の2人組。  
そんな彼らが、約1年振りに4作目にあ  
たるニューアルバム「善悪の第三者」を  
リリース。茶目気たっぷりの歌詞はます  
ます牙え渡り、サウンド面では、レコー  
ディング作業を思い切り楽しんだという  
印象のアプローチを展開。ブレイク・ピ  
ーツを用いた意外な顔や、山下洋輔ニ  
ュートリオを迎えての「ジャズ」なやんち  
や振りを発揮。その他にも多数のゲスト、  
ミュージシャンを迎え、さらにオープニ  
ングではアコーディオンの巨匠／横森良  
三氏まで飛び出す、という気の効いたア  
ルバムに仕上がっている。自動車、ビール、  
コンビニエンスストアなどのCMでメ  
で引つ張りタコに彼らに、ニューアルバ  
ムのこと、CMソングのことなどをイン  
タビュー。

↑左から倉持陽一、桜井秀俊

組んだ曲「のこりカスNO5」なんてと  
てもジャズ、ですけれども。  
桜井「真心ブラザーズっていうのはね、  
基本的には歌を歌って、ただギターを弾  
くお兄さんが2人いるっていうことだけ、  
なんです。その2人の中でサウンドを  
どうしようっていうのは全くないんです。  
でもCDを作るっていう段階になると、  
音の演出は必要だし、やりたくなります  
よね。で今回割と私がアレンジとか取り  
仕切ったんですが、サウンドとか音楽的  
アプローチは、服を着る感覚ですね。色  
んな服を着せてみよう、っていう意味で  
ね。だから何故ジャズかって言われても  
ね、その服が着たかったって言うくらい  
でね」

——でそのジャズな服、山下さんとの共  
演はどんなものでしたか。  
桜井「喧嘩してるみたいいな弾き方、だし  
たねー、山下さんて」

——ところでかなりたくさんさんの曲がCM  
ソングに使われてますよね。  
倉持「単にそういう話が来たからね。作  
気がして。ま、発見はありましたね」



# NEWS \* EVENT



↑ガリアーノ



↑ジェームス・ブラウン

## ホワイト・デイのプレゼントに、 気になるヒトを誘ってみたい催し。

93年も足繁くお出掛けして下さるか？ バレンタインが終わったからといって、手を抜いてはいけません。ホワイト・デイがあります。さあ、お返しに、素敵な女性をピースな催しにエスコートして下さい。というのにピッタリかどうか？。トーキング・ラウドの看板スター、**ガリアーノ**が再来日だ。2ndアルバムで新たな局面を聴かせてくれただけに、こういった形態でライブを展開することになるのか、期待されるどころだ。新しいジャズのブーム絶頂期、旬のライブ間違いなし。同じくトーキング・ラウドの創設者、DJ **ジャイルス・ピーターソン**が、昨年末のグラフィック・デザイナー、イアン・スイフトやKクリエティヴらと共に来日に引き続き、またまた来日してしまふ。しかも来京ノナイスなことです。R&B、ソウル、ファンクなど、あらゆるサウンドを包括したグルーヴで人

気の**ネビル・フラサース**も見逃すな。ノイス・ギターの大家、**ロニック・ユース**が来日。ジョン・ローン主演で話題を呼んだ映画「チャイナ・シャドー」の原作「スネーク・ヘッド」を元に、宮本亜門の演出、ディック・リーが音楽を担当するというミュージカル「**香港ラフソニー**」も見逃せないだろう。福井貴一、伊原剛志、マリリン、上条恒彦、尾藤イサオらのキャスト。大阪から飛び出した世界のアイドル、**少年ナイフ**が心齋橋クアトロで2DAYを敢行。一足早い春を先取るなら、**ティオンヌ・ワーウィック**のスイートな2DAYがオススメ。この時期に名曲「ルック・オヴ・ラヴ」とかを聴いたらもうそりゃあ涙モン、でしょうやはり。近田晴夫率いる**ピラストーン**の久々のツアーも見逃えぬそう。流行なんて知ったこっちゃない、と我が道を行く、イギリスの**サンデイズ**が再来日。ハリエツト嬢はもちろん、彼らはすつと変わらず、サンデイズの道を歩むのか、確認して下さい。貴方の目と耳で。忘れていませんか？彼が実は歌手だ、ということをごそんなやしきたかじんが、何と6DAY公演。すごい。さすがホーム・グラウンド。しかも便利な場所だ。誰かを誘って行ってみたいはイカガでしょうか。今最もノリにノッてるポップ・グループといえは**トリーナス・カム・トゥルー**。米米、ユーミン、サザンと並んで、チケットの取りにくい人気グループとしても有名だけど、皆様、チケットはGETされませんか？新田サンバーを織り混ぜたファンは必涙、というツアーを行うのは**ザ・ブーム**。7月リリース予定の新作の前の、サーピスといったところか？

4人のオリジナル・メンバーのみでのツアーというところも、ブームらしくていい感じた。今回のツアーでは、来京もしてしまふ。世界のファンクの帝王**ジェームス・ブラウン**が来日。目の覚めるようなブルーの燕尾服で自らヤカンのお湯を注いでしまう例のCMでお茶の間の話題を独占したJ.B.今年60歳になるキングの熱いステージに期待。ニューヨーク、ハーレムで練り広げられるクラブ・シーンが舞台となったドキュメンタリー「**パリ、夜は眠らない**」が上映される。黒人ゲイ・カルチャーのパワーと華かさかふんだんに描かれた91年ベルリン国際映画祭、91年サンダース・フィルム・フェスティバル、90年ロサンゼルス映画批評家協会からそれぞれ賞を受けた作品である。

『**冬物語**』といっても某社のビルじやなくて、これはエリック・ロメールの最新作。「春のソナタ」に次ぐ、「四季の物語」シリーズの第2弾。シエイクスピアの「冬物語」を下敷にした現代ドラマである。60年代に独自の映像分野を切り開いた飯村隆彦の映像制作30周年記念ビデオインスタレーション&回顧上映展「**飯村隆彦のメディア・ワールド**」が開催される。ビデオ芸術の元祖だ。永瀬正敏が出演した映画を集めた映画祭「**永瀬正敏特集**」が、みなみ会館で上映される。ファンはもちろん、最近彼が気になる方は要チェックだ。画家とその妻と若いモデルの危うい感覚を描いた「**美しき裸の女**」も見逃さない。老画家のモデルに対する視線に、やがてモデルは美しき裸の女に変わってゆく。ちよっと長い映画だけど、ビデオよりも映画館で観たい作品である。②



Club  
Fame.

# 即戦力

スクランブルノスクランブルノ

カのあるライター

腕におぼえのあるライター

この指令を受け次第、速やかに行動せよ。

スタッフ募集：ライター・セールスプランナー  
経験者にかぎる。

CLUB FAME TEL: 075-266-7555 担当 編集部

- ガリアーノ / 3月16日(火) 8:00PM~ / 凸心齋橋クアトロ / ¥6,000円(前売5,500円) / 凸クアトロ ☎06・281・8181
- ジャイルス・ピーターソン / 3月18日(木) 8:00PM~ / 凸メトロ / ¥3,500円(前売3,000円) / 凸スタック・オリエンテーション ☎721・4402
- ネビル・ブラザーズ / 2月24日(水) 7:00PM~ / 凸大阪フェスティバルホール / ¥S6,500円A5,500円 / 凸HIP大阪 ☎06・362・7301
- ソニック・ユース / 2月21日(日) 6:00PM~ / 凸大阪フェスティバルホール / ¥S6,500円A5,500円 / 凸ウドー音楽事務所 ☎06・341・4506
- 「香港ラブソティエー」 / 4月16日(金)~30日(金) / 凸シアター・ドラマシティ / ¥S10,000円A7,000円 / 凸リバティ・コンサーツ ☎06・344・5111
- 少年ナイフ / 2月20日(土) 7:00PM~ / 凸心齋橋クアトロ / 凸キョードー大阪 ☎06・345・2500
- ディオヌ・ワーウィック / 3月23日(火)、24日(水) 7:00PM~ / 凸大阪フェスティバルホール / ¥S8,500円A7,500円 / 凸キョードー大阪 ☎06・345・2500
- ピブラストーン / 3月5日(金) 8:00PM~ / 凸心齋橋クアトロ / ¥4,500円(前売4,000円) / 凸クアトロ ☎06・281・8181
- サンディズ / 3月26日(金) 7:00PM~ / 凸心齋橋クアトロ / ¥6,000円(前売5,500円) / 凸クアトロ ☎06・281・8181
- やしきたかじん / 3月1日(月)~3日(水) 6:30PM~、5日(金)、6日(土) 6:30PM~、7日(日) 5:30PM~ / 凸シアター・ドラマシティ / ¥5,000円 / 凸キョードー大阪 ☎06・281・8181
- ドリームズ・カム・トゥルー / 2月26日(金)、27日(土) 6:30PM~ / 凸大阪城ホール / 凸夢番地 ☎06・341・3525
- ザ・ブーム / 3月5日(金) 6:30PM~ / 凸京都会館第1ホール / ¥4,000円(前売3,605円) / 凸キョードー大阪 ☎06・345・2500
- ジェイムス・ブラウン / 4月16日(金) 7:00PM~ / 凸大阪城ホール / ¥S8,000円A7,000円 / 凸キョードー大阪 ☎06・345・2500
- 『パリ、夜は眠らない』 / 2月20日(土)~3月5日(金) / 凸みなみ会館 / ¥一般1,600円学生1,400円 / 凸RCS ☎315・7281
- 『冬物語』 / 2月27日(土)~3月10日(水) / 凸みなみ会館 / ¥一般1,600円学生1,400円 / 凸RCS ☎315・7281
- 「飯村隆彦のメディア・ワールド」 / 3月4日(木)~27日(土) 1:00AM~8:00PM / 凸キリンプラザ大阪 ☎06・212・6578
- 〈永瀬正敏特集〉 ■『アジア・ビート・アイ・ラブ・ニッポン』『死んでもいい』(2本立) / 3月6日(土)~12日(金) / 凸みなみ会館
- 『死んでもいい』『アジア・ビート・アイ・ラブ・ニッポン』『喪の仕事』『シオンベン・ライダー』(オールナイト4本立) / 3月5日(金)、6日(土) / 凸みなみ会館 / 凸RCS ☎315・7281
- 『美しき諍い女』 / 3月13日(土)~ / 凸みなみ会館 / 凸RCS ☎06・315・7281



# VIVA \* CINEMA

1993新春の話題の映画、  
要チェックの必見は？



「ナイト・アンド・ザ・シティ」



「ハイヒール」

93年になって、貴方は何本映画を御覧になっただろうか。新春第一弾公開の「ドラキュラ」で、ウィノナ・ライターの息を飲む色気にドキッとさせられた方も少なくないであろう。そんなドキッとしたい方には、ロマン・ポランスキーの新作「赤い航路」を。快楽のプールに溺れていく男女。やがて肉体的に不能になった男、嗚呼する女の。愛の残酷さ、とエロスを描いた官能の物語。ポランスキー夫人であるエマニュエル・セイナー主演の、愛の終局を描いた作品。ドラマチックな演出と、ド派手な美術、奇抜な発想、だけと意外にモラリストクなスペインの鬼才ペドロ・アルモドバルの新作「ハイヒール」も見ておきたいものだ。坂本龍一の音楽や、シャネル、アルマーニ、シビラといったブランドのコスチュームでも話題を呼んでいるこの作品は、これまでのアルモドバル作品の中では最もマトモなストーリーであると言える。それでも期待を裏切らない新鮮さは、やはり独特の色使い、かもしれない。坂本龍一の音楽と言えば、名作「嵐が丘」のピーター・コスミンスキー監督による作品の公開も待ち遠しい。ジュリエット・ピノシユが2役に挑んだ、というところも見どころだ。そのジュリエット・ピノシユのもう一つの話作が「タメージ」である。ルイ・マル監督による甘い秘密の恋の後に起きる悲劇の物語。ジェレミー・アイアンズ扮するイギリス政界の大物議員が、ジュリエット・ピノシユ扮する息子の恋人と恋におちる。秘密のアパートで激しく愛し合う2人。男は妻と別れる決意をするが、女は恋人(息子)と別れるつもりはない。そしてやがて2人の間に悲劇が訪れるのであった。音楽はポーランドのブレイスネルが担当。これも楽しみである。新作「エロティカ」や写真集「SEX」のヘア問題e.t.cで話題のマドンナ。昨年は「フリテイ・リーグ」で感動の役を演じていたが、新作「ボディ」で、地のまま(カ)と言える凶器の肉体を演じる。大富豪の老人を、腹上死させた彼女は、「肉体を使った殺人」の容疑で訴えられる。彼女の弁護を担当することになった弁護人は、依頼人の不思議なエロスに溺れてしまう。マスターベーションを披露したところで、マドンナのヌードは全然欲情しない、なんていう世間の声も何のその。鍛え抜かれたボディの魔力にとりつかれたら、命はないもとして覚悟された。映画の都ハリウッドの裏側を大胆に描いたロバート・アルトマン監督久々の話題作「ザ・プレイヤー」はもう御覧になっただろうか。ハリウッドの裏の実力者を、人々は「プレイヤー」と呼ぶ。そのプレイヤーは、彼を逆恨みする脚本家から脅迫状を受ける。彼は犯人と思われる脚本家を突きとめるが、もみ合いの末、殺してしまう。しかし殺した脚本家は脅迫状の送り主ではなかった。そして彼は殺した脚本家の恋人に恋をする。欲望と金と陰謀と憎悪と裏切りが渦巻くハリウッドでたたかき生きる男はやがて…。シエール、ブルース・ウィリス、ジュリア・ロバーツ、アンディ・マクドゥウェル、ハリー・ベラフォンテ、カレン・ラックら50名以



「サ・プレイヤー」

上の一流スターがゲスト出演(しかもノ  
ーギャラに等しい)していることも見  
逃せないところであるが、何よりもアル  
トマン監督のメイン・ストリーム復帰  
作であるということを楽しみたい。豪華で  
汚なくて、する賢くて、滑稽なハリウッド  
が、実にシニカルなユーモアでもって  
描かれている傑作だ。TVシリーズ「ツ  
イン・ビークス」のオードリー役で一躍  
注目を集めたシェリリン・フェンの新  
作は「二十日鼠と人間」。文豪スタイン  
ベックの原作で知られる人間ドラマを、  
舞台出身のゲイリー・シニースが監督、  
製作、主演。ツイン・ビークスや「ト  
ウ・ムーン」とは一味違った魅力のシェ  
リリン・フェンもさることながら、こ  
の正統派な人間ドラマの魅力を味わい  
たい作品だ。ロバート・デ・ニーロが  
久々にラフな役柄に挑んだ「ナイト・  
アンド・ザ・シティ」は、NYを舞台  
にした物語。デ・ニーロ演じる口先だ  
けのはたたりで姑息に生きる弁護士は、  
自分の生き様にうんざりし、古き良き  
時代のボクシング興行を復活させよう  
と新たな人生に目覚める。しかし往年  
の老名興行師と組んだのもつかの間、  
彼は持病の心臓発作で試合直前に急死。  
それをきっかけに、街のマフィアに命  
を狙われるうえ、騙し騙して積もり積  
もった借金で命を狙われ、友人の妻(ジ  
エシカ・ラング)との仲が友人にバレて  
しまい、と四面楚歌。そんな時でさえ、  
彼は喋り続けることを止めない。デ・  
ニーロの演じるキャラクターの身近な  
印象が嬉しい、親近感あるこの作品で  
は、デ・ニーロはもちろん、殺し屋達  
のコートなど、すぐにも真似したい  
アイテムが沢山。デ・ニーロがボクシ  
ングに魅かれる切掛けの部分の心理描  
写が些か不十分かと思われたが、大人  
のロマンズの愚かさもすべて許してし  
まえる気になるようなラストの「フレ  
ディ・マーキュリーの歌声に、この作  
品は救われている」。既に93年度の  
アカデミー賞最有力候補作品といわれ  
るのが、トム・クルーズ、ジャック・  
ニコルソン、デミ・ムーアという豪華  
キャスト(もうこれだけで満腹)作品  
「ア・フュー・グッドメン」だ。詳しく  
は次号で、ということにしておくが、  
監督はロブ・ライナー、トム・クルー  
ズは海軍弁護士役、というだけで、ほ  
うら、貴方はもうこの作品が待ち遠し  
くってたまらなくなるはず。何だかん  
だといっても、やはりスバイク・リー  
の最新作「マルコムX」が最も期待さ  
れてる作品ではないだろうか。  
3月の公開予定らしいのだが、今尚  
(現在1月上旬)試写の案内もない状  
態だ。とり敢えず先行発売されている  
「マルコムX」のオリジナル・サウンド  
・トラックでも聴いて、十二分に期待  
に胸を膨らませておきましょう、とり  
敢えず。でもこのサントラは、スバイ  
ク・リーとクインシー・ジョーンズが  
プロデュースした、コンピレイション  
としても充分満足できるもの(詳しく  
はOWN・TIME参照)。  
といった、計10本の93年前半(予定)の  
作品でした。この中に貴方が御覧にな  
りたい映画、ありましたか。⑦



## アリーシャと熊ストーンリング

脚本・制作・監督：ウィム・ヴェンダース

日本初！映像にあわせて、香りや振動が……。これぞ五感をゆさぶる体感ムービー。



ヴェンダース監督(来日記者会見にて)

ロードムービーと言えば、ウィム・ヴェンダースの名があげられるように今回の日本企業とのプロジェクトほどヴェンダースの特性をうまく生かしたものは、なかったであろう。

70台の展示車両に加え、ホール、シアター、カフェ、レストランなどを持つ複合シヨールーム「トヨタオートサロン・アムラックス東京」が、「旅とドライブینگ・プレジャー(運転する楽しさ)」をテーマに、ヴェンダースへ短篇映画の製作を依頼。そして今回、20分の作品が完成し、この一年間、アムラックスシアターで無料公開されることになった。

ヴェンダースによると、トヨタから提示された製作条件は、映画の中で、どんな車種でもよいからトヨタの車を使ってほしいという事だけであったので、ロードムービーの第一人者としては、自発的に喜んで、この仕事を引き受けたと言う。それを裏つけるかのように、今回の撮影でのヴェンダースは新たなことに挑戦している。監督、脚本、製作の他に、自らが俳優として出演し、その中で8ミリビデオを撮影する役を演じているが、その8ミリで

撮られた映像は、実際に映画の中で使われていたりする。

短期間で製作されたこの短篇映画についてヴェンダースは、たった20ページの脚本を一週間で撮り終えたが、20ページ、6週間撮影した作品と同じ位のものが表現できた。長篇を撮っている時のプレッシャーとは無縁。こんなにも軽くてシンプルな作品が撮れるなんて、驚きであったと語る。また、彼の人生の目標は、年老いてからコメディを撮る事であり、今回はその第一歩かも知れないと言う。

さてこの映画、体感ムービーを売りに上映されるわけだが、どんなものなのかと言うと、コーヒーを飲む場面になるとコーヒーの香りがする、車のエンジンをかければ、その振動が自分のシートに伝わってくるというもの。まさしく、自分が映画の中にある様な気がするのである。これは、このアムラックスシアターが日本初の映像にあわせて香りができる、アロマシステムを常設、さらに8チャンネル・サラウンドシステムの音響とボテイソニックを備えた映像システムであることがあげられる。これについてヴェンダースは、

通常の映画より物理的、立体的になったのではないかと喜ぶ。

是非一度、ファンならずとも、体験してみたいかが?

たった20分の映画は、ヴェンダースファンにとってはもの足りないもの。続編を見たいなら、トヨタ・アムラックスへ、続編を撮れ！と手紙を出してくれと、ヴェンダースは言っていた。次回作を楽しみに待つことにしよう。

最後に、ヴェンダースの最新作は、お待ちかねの「ベルリン・天使の詩」の続編。キャストは前回とほとんど同じであるが、新たにナスタシーヤ・キンスキーやウィリアム・デフォーが加わり、またゴルバチヨフも出演しているというから、こちらも楽しみだ。

(あらすじ)

人通りもまばらな夜のベルリン。熊のぬいぐるみ姿で、ちらしを配布していた一人の男。人生に嫌気がさし、街を出る決意をする。そこで出会ったロシア人母娘の車に同乗する。一日足らずの奇妙なドライブの中、それぞれの生き方を模索していく。

(お問い合わせ)

アムラックス 東京・池袋

03-6456-1100 (案内) 11000

取材・文 鳴海千裕



(右) ルディガー・フォグラー  
ヴェンダース監督のロードムービー3部  
作の主役でもあった。



アリーシャ役(アリーナ・ボスニシエンス  
カヤ)とサンタ役(ウィム・ヴェンダース)